

10. 教育・文化分野 - - - 教育コンテンツ管理

<p style="text-align: center; background-color: #f96; border-radius: 10px; padding: 2px;">2005年</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 具体的なシステム概要 <ul style="list-style-type: none"> ・教育コンテンツのメディアの不正利用や利用状況(利用者、利用回数、時間)を管理するシステム 2. 実現の効果 <ul style="list-style-type: none"> ・教育コンテンツの不正利用防止や、教材の概要、現在位置、利用状況を容易に把握、新しい教材の開発に必要な情報(利用頻度等)を瞬時に把握することができる。 3. 技術開発課題 <ul style="list-style-type: none"> ・高度センシングシステム技術、コピキタアドレス適用、管理システム技術 4. 取り組むべき課題 <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる教育コンテンツの媒体へのタグの埋めこみ方法の確立、教材コンテンツ提供者と利用者間のルールの確立 	<p style="text-align: center; background-color: #f96; border-radius: 10px; padding: 2px;">利用イメージ</p>
<p style="text-align: center; background-color: #f96; border-radius: 10px; padding: 2px;">2010年</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 具体的なシステム概要 <ul style="list-style-type: none"> ・教材の記録媒体に貼り付けられた電子タグや、付随するメタデータによって、教材の内容、位置情報、利用状況(利用者、利用回数、授業テーマ等)を一元管理するシステム 2. 実現の効果 <ul style="list-style-type: none"> ・教材の利用者や開発者が、教材の過去の利用履歴から、授業のテーマにマッチした教材や新しい教材の開発に必要な細かな利用情報の探索ができる。 3. 技術開発課題 <ul style="list-style-type: none"> ・高度センシングシステム技術、超小型ワンチップコンピュータ技術、コピキタアドレス適用、管理システム技術 4. 取り組むべき課題 <ul style="list-style-type: none"> ・教育コンテンツの中身の詳細データを登録する方法の確立 	<p style="text-align: center; background-color: #f96; border-radius: 10px; padding: 2px;">利用イメージ</p>

10. 教育・文化分野 - - - 文化財保護

<p style="text-align: center; background-color: #f96; border-radius: 10px; padding: 2px;">2005年</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 具体的なシステム概要 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財に電子タグを添付、電子タグとその文化財に関するデータや写真などの情報をリンク付け統合的なデータベースで管理、公開する 2. 実現の効果 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財とその付帯情報のグローバルな管理公開による、調査研究の促進、文化財保護、教育啓蒙 3. 技術開発課題 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な文化財を痛めない長期使用可能な電子タグの開発 4. 取り組むべき課題 <ul style="list-style-type: none"> ・世界的な文化財管理体系の整備、管理 	<p style="text-align: center; background-color: #f96; border-radius: 10px; padding: 2px;">利用イメージ</p>
<p style="text-align: center; background-color: #f96; border-radius: 10px; padding: 2px;">2010年</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 具体的なシステム概要 <ul style="list-style-type: none"> ・GPS機能を持つ極小アクティブ電子タグを注入などにより添付、グローバルにリアルタイム文化財管理保護を行う 2. 実現の効果 <ul style="list-style-type: none"> ・世界中の貴重な文化財について、発見、発掘から調査研究、文化財公開、保管と、継続的にリアルタイムに位置まで管理することで盗難等の防止、文化財の追跡を容易にする 3. 技術開発課題 <ul style="list-style-type: none"> ・長期使用可能なアクティブ、盗難時に剥離できいほど微小な、電子タグの開発 ・リアルタイムに全世界的に文化財のトレースを行い管理するシステム 4. 取り組むべき課題 <ul style="list-style-type: none"> ・世界的な文化財管理体系の整備、管理 	<p style="text-align: center; background-color: #f96; border-radius: 10px; padding: 2px;">利用イメージ</p>

10. 教育・文化分野 - - - 展示品解説・案内

2005年

1. 具体的なシステム概要
博物館等の展示情報、閲覧経路、展示物の解説等を見学者に対して行うための新しい展示品解説・案内システムを構築する。大学や地域団体からの発信による最新の情報と連携することで、展示品に関する詳細な情報や、解説をいつでもどこからでも取得可能にし、知的満足感を与える。文化財、展示ケース等に電子タグを発信。電子タグとその文化財に関するデータや写真などの情報をリンク付け統合的なデータベースで管理、公開する。

2. 実現の効果
興味をもった展示品についてより詳細な情報入手でき、全国各地域からの主体的情報発信による学習の場を構築できる。設備の整ったセンターでデジタル情報を保管することで、災害時でもデータの保全が可能となり、博物館での展示がより充実したものとなる。

3. 技術開発課題
・様々な文化財を痛めない長期使用可能な電子タグの開発。
・ドットインク技術・サービシ合成/開発技術・コネクティブインク技術
・NVRAM資源利用技術・ユースケース管理/制御技術・アクセス制御/制御技術
・大規模アクセス技術・より表現力の豊かなコンテンツ表現技術および再生技術

4. 取り組むべき課題
博物館等における収蔵品の管理体系の整備、管理。

利用イメージ

2005年
見学者は、博物館等における一部の展示品等に関連する情報をその場で入手することができ、現地での学習効果を高めることができる。

2010年
2005年に加え、見学者の展示品の情報をICカード等に記録でき、関連する情報をいつでもどこからでも自在に入手でき、反復学習や見学の記録を残すことができる。

11. 就労分野 - - - ドキュメント・物品管理

2005年

1. 具体的なシステム概要
紙媒体のドキュメントの付随情報、位置を把握し、持出、コピー・コレクターの不正利用や誤操作も検知するシステム

2. 実現の効果
・ドキュメントの管理、探索を容易にし、不法持出、不正なコピーや粉砕を防止することができる

3. 技術開発課題
・高度センシングシステム技術、超小型ワンチップコンピュータ技術、コピキタアドレス運用、管理システム技術

4. 取り組むべき課題
・タグの低コスト化、ネットワーク化、ドキュメントタグを貼付方法の確立、標準化、等

利用イメージ

2010年

1. 具体的なシステム概要
電子政府において、省庁・役所等における紙媒体のドキュメントを、貼付する電子タグと住基カードシステムと連動させて管理するシステム

2. 実現の効果
・住基カードシステムと連動することによって、登録者の認証と書類の真正性の保証を行うことが可能

3. 技術開発課題
・高度センシングシステム技術、超小型ワンチップコンピュータ技術、コピキタアドレス運用、管理システム技術、ネットワーク間QoS技術

4. 取り組むべき課題
・タグの低コスト化、行政に関するドキュメントに電子タグを貼付する行政ルール、住基基本台帳のシステムとの連動